

ステップアップコース 第1回 経営環境の把握

消費動向、経済指標の変化、
インバウンド対応、IT化の実情等

中小企業診断士
橋本 泉

◇ステップアップ編の概要

- 基礎編の知識を「実際の経営に使える」ようにする
- 経営的視点から環境を把握し、自店現状と照らして課題設定ができるようになる
- 各回独立のテーマなので、関心のあるところのみ出席も可能
- 創業者はビジネスプランを作成できることが目標
- 既存業者は経営改善計画を立案できるようになることが目標

◇経営環境の把握

復習： 戦略策定の要素 3C(自社 競合 顧客)

3Cを取り巻く経営環境の変化

- Politics 政治・制度 ・Economics 経済
- Social 社会情勢 ・Technology 科学・技術

参考資料「日本再興戦略」

首相官邸＞政策会議＞日本経済再生本部

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/>

内閣府＞内閣府の政策＞経済財政政策

<http://www5.cao.go.jp/keizai1/keizaitaisaku/keizaitaisaku.html>

日本再興戦略 2016 における鍵となる施策

1.600 兆円に向けた「官民戦略プロジェクト 10」

1-1:新たな有望成長市場の創出

- (1)第4次産業革命(IoT・ビッグデータ・人工知能)
- (2)世界最先端の健康立国へ
- (3)環境・エネルギー制約の克服と投資拡大
- (4)スポーツの成長産業化
- (5)既存住宅流通・リフォーム市場の活性化

1-2:ローカルアベノミクスの深化

- (6)サービス産業の生産性向上
- (7)中堅・中小企業・小規模事業者の革新
- (8)攻めの農林水産業の展開と輸出力の強化

(9)観光立国

昨年の訪日外国人旅行者数は 1,974 万人(この3年で2倍以上)

その旅行消費額は3兆 4,771 億円(この3年で3倍以上)それぞれ大きく増加

観光は、「地方創生」の切り札、GDP600 兆円達成に向けた成長戦略の柱

訪日外国人旅行者数を 2020 年に 4,000 万人、

訪日外国人旅行消費額を 2020 年に8兆円とするなどの新たな目標に

向け、こうした流れを更に加速し、観光を我が国の基幹産業へと成長させる。

<鍵となる施策>

- 1 観光資源の魅力向上(迎賓館等の開放、文化財・国立公園などの活用)
- 2 観光関連規制・制度の見直し(通訳案内サービスの拡大等)
- 3 地域観光経営(DMO)の推進
- 4 観光人材の育成
- 5 訪日外国人旅行者の拡大に向けた地域の受入環境整備
- 6 休暇取得の促進・分散化

1-3:国内消費マインドの喚起

(10)官民連携による消費マインドの喚起策

2.生産性革命を実現する規制・制度改革

(1)新たな規制・制度改革メカニズムの導入

(2)国家戦略特区の活用(構造改革の突破口)

(3)未来投資に向けた制度改革

ア)コーポレートガバナンスの更なる強化

イ)活力ある金融・資本市場の実現を通じた成長資金の円滑な供給

3.イノベーションの創出・チャレンジ精神にあふれる人材の創出

(1)イノベーション、ベンチャー創出力の強化

(2)経済成長を切り拓く人材の育成・確保

(3)成長制約打破のための雇用環境整備、多様な働き手の参画

4.海外の成長市場の取り込み

5.改革のモメンタムの活用(「改革2020」プロジェクトの推進)

2020 年以降に継承できる財産(レガシー)にもつながることを留意しつつ、我が国の強みである技術力等をショーケース化していく。世界中で新たなビジネスモデルの構築競争となっている自動走行や世界 共通の課題である環境・エネルギー問題の解決、人口減少と高齢化といった幅広い課題の解決に資する先端ロボットの活用など、未来を切り拓くプロジェクトを 2020 年に向けて実施していくことで、我が国と世界の未来を切り拓いていく。

〈鍵となる施策〉

「改革2020」プロジェクト

(自動走行、分散型エネルギー、先端ロボット等)

- 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えるべく、迎賓館等魅力ある公的施設の大胆な開放、自然や農産物・食・伝統文化・景観など、地域の観光資源をいかした地方誘客の促進、広域観光周遊ルートの世界水準への改善など訪日外国人旅行者のニーズに対応した観光周遊ルートの形成促進を行うとともに、消費税免税店の拡大等を通じ、外国人旅行者の更なる観光消費の拡大を図る。

- 観光の力で、地域に雇用を生み出し、人を育て、国際競争力の ある生産性の高い観光産業へと変革

1 魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放

2 国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化

3 文化財の観光資源としての活用推進

4 景観の優れた観光資源の保全・活用による観光地の魅力向上

5 滞在型農山漁村の確立・形成

6 地方の商店街等における観光

需要の獲得・伝統的工芸品等の消費 拡大

7 広域観光周遊ルートの世界水準への改善

8 東北の観光復興

	2020 年	2030 年
訪日外国人旅行者数	4,000 万人	6,000 万人
訪日外国人旅行消費額	8兆円	15 兆円
地方部での外国人延べ宿泊者数	7,000 万人泊	1 億 3,000 万人泊
外国人リピーター数	2,400 万人	3,600 万人
日本人国内旅行消費額	21 兆円	22 兆円